

令和6年度ぐーんとアカデミー 物産・基礎編 Q&A

※このQ&Aは、新たな質問が届き次第、更新します。(令和6年10月22日更新)

	Q(質問)	A(回答)
1	この講座では、どんなことを学ぶことができますか？	この講座では、農林水産物や伝統的な技術・技法等、奄美群島の地域資源を生かした商品の開発、商品デザイン、ブランディング、魅力発信等についての基礎知識とスキルを実践的に学ぶことができます。 各回のテーマについては、開催スケジュールをご確認ください。
2	パンフレットの「対象」の中に、定員30名との記載がありますが、同じ会社から複数名受講することはできますか？	1事業者あたりの受講人数の上限は定めていません。ただし、受講を希望される方が定員を超える場合は、1事業者あたりの受講人数を1～2名程度に制限させていただく場合があります。
3	パンフレットの「目的」の中に、(本アカデミーは、基礎編・応用編の2か年で実施します。)との記載がありますが、今年度の講座(物産・基礎編)を受講した場合、必ず次年度の講座(物産・応用編)を受講しないといけませんか？	次年度の受講を必須とはしていません。ただし、受講を希望される方が定員を超える場合は、次年度も受講意思のある方を優先させていただく場合があります。 <u>なお、今年度の講座(物産・基礎編)を受講していない方は、次年度の講座(物産・応用編)を受講することはできません。</u>
4	開催要項 1 目的の中に、「将来的に、「物産ア	「物産アドバイザー」には、ご自身の事業で得られた経験や知識、技

	<p>ドバイザー」として他者に対して具体的な指導、支援を行うことができる人材を養成する」との記載がありますが、「物産アドバイザー」とは、地域でどのような役割を担うことが期待されていますか？</p>	<p>術及び本講座で学んだ専門的な知識と技術を活かし、奄美群島内で特産品等を製造又は販売する事業者や個人事業主に対し、身近な相談窓口として活動していただくことを期待しています。</p> <p>たとえば、「物産展に出展したいけれど、申込書類の書き方がわからない」、「インターネットで商品を販売したいけれど、どうしたら良いかわからない」等の悩みに対し、身近な存在として、悩みを解決するためのサポートをしていただく等の活動を想定しています。</p>
5	<p>開催要項 1 目的の中に、「将来的に、「物産アドバイザー」として他者に対して具体的な指導、支援を行うことができる人材を養成する」との記載がありますが、この講座を受講・修了すれば、自動的に物産アドバイザーになることができますか？</p>	<p>この講座（物産・基礎編）を受講・修了した場合でも、自動的に物産アドバイザーになることはできません。</p> <p>この講座は、基礎編と応用編の2か年で実施します。次年度の講座（物産・応用編）を受講・修了試験に合格し、かつ、居住（活動）する島の観光協会・連盟等の推薦を受けた方に物産アドバイザーとして登録していただくこととしています。</p>
6	<p>開催要項 1 目的の中に記載されている「物産アドバイザー」は、将来的に貴団体とどのような連携を行うことになりますか？</p>	<p>今年度の講座（物産・基礎編）と次年度の講座（物産・応用編）の2か年の講座を受講・修了試験に合格し、かつ、居住（活動）する島の観光協会・連盟等の推薦を受けた方に物産アドバイザーとして登録していただきます。</p>

		登録された物産アドバイザーは、当協会のホームページ上で公開され、指導や助言を必要とする事業者等からの申込に対し、指導や助言等の活動を行っていただきます。なお、こうした活動に対し、予算の範囲内で当協会が謝金をお支払いします。
7	この講座及び次年度の講座を受講し、「物産アドバイザー」になると、事業者にとってどのようなメリットがありますか？	<p>①今年度の講座（物産・基礎編）を受講することで、農林水産物や伝統的な技術・技法等、奄美群島の地域資源を生かした商品の開発、商品デザイン、ブランディング、魅力発信等についての基礎知識とスキル実践的に学ぶことができます。</p> <p>②次年度の講座（物産・応用編）を受講することで、他者に対して具体的な助言や指導、支援を行うことができる知識とスキルを身につけることができます。</p> <p>③当協会の「物産アドバイザー」として登録されると、予算の範囲内ではありますが、有償で他者に対する助言や指導、支援等の活動を行うことができます。</p>
8	今年度の講座はスケジュールが合わず受講できないのですが、来年度以降も実施されますか？	はい。来年度も実施する予定です。来年度は、基礎編と、基礎編を修了した方向けの応用編の2講座を開催する予定です。